

さくらの里新聞



第256号 令和7年4月16日発行

発行元 元気村グループ 社会福祉法人心の会 さくらの里

通所介護課 課長（管理者）：馬賀清子 主任：入山祥子

〒238-0026 横須賀市小矢部4-19-4

電話046-852-0500 ファックス046-852-0643

さくらの里公式ブログ・デイサービス日記 <https://ameblo.jp/sakura-asunaro01/>

小矢部町内外出りハビリ

3月24日(月)25日(火)

桜が咲き始めた3月末でしたが、寒の戻りで外はまだ空気が冷たい日が続きました。そんな中、外出りハビリで屋外を歩いていただきました。坂道も頑張って上り下りして、しっかり歩ききりました。春の訪れも感じられました。



フラワーアレンジメント

3月7日(金)8日(土)

ピンクや黄色、色とりどりの季節の花を揃えて、フラワーアレンジメント体験です。生け花を習っていた方もそうでない方も、思い思い自由に活かしていらっしゃいました。職員は「麦とスイートピーは目立たせましょう」「菜の花は伸びてきますので短めに切りましょう」など少しだけアドバイスをします。いつもお世話になっているお花屋さんからのアドバイスにも助けられ、皆さんのびのびとアレンジをしていました。



特選スイーツ「新潟名物・笹団子と笹ざくら」

今回の特選スイーツは新潟の銘菓「笹団子」で **3月17日(月)18日(火)19日(水)**です。定番のヨモギの笹団子と、桜色の笹ざくらの2種類をお取り寄せしました。笹団子はヨモギの香りと厳選されたあんこが相性ピッタリです。笹ざくらはピンクのお餅の中に桜の葉の塩漬けを練り込んだ白あんが入っていて、桜の風味がほんのり香る、春らしいお団子です。笹の葉で包まれているので、どちらも笹の香りも楽しめました。



3月のさくらクラフト工芸活動

簡単押し絵



押し絵とは日本の伝統的な手芸で、代表的なものは羽子板が有名です。今回は、初心者でも出来る簡単押し絵にチャレンジしてみました。型抜きされたパーツにちりめんの布をくるみ、パズルのように貼り重ねるとふっくら立体的に仕上がります。雪の妖精ともいわれる「シマエナガ」と「木蓮の花」の2種類から選んでいただきました。初めて作る方が多かったですが、布を切ったりパーツにくるんだり、立体的に張り付けたり、とても上手に作られていました。



マシュマロ味比べ

3月14日(金)15日(土)



卵白と砂糖で作られるシンプルなお菓子、マシュマロ。この日はちょうどホワイトデーでしたが、バレンタインのお返しにマシュマロが選ばれることもあるそうです。今回はホワイト・イチゴ・カルピスの3種類の味比べをしました。ホワイトは一度は食べたことがある定番なので人気でした。イチゴやカルピスは噛むと中のゼリーが口いっぱい広がります。マシュマロを食べるのは久しぶりという方がほとんどでしたが、ふわふわした独特の食感を楽しんでいました。

